

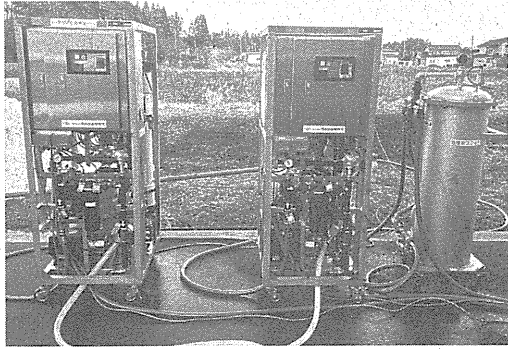
# 珠洲・輪島に浄水装置

## キットグループ 生活用水確保に貢献

能登半島地震によって断水が生じた珠洲市と輪島市で、キットグループの可搬式膜ろ過浄水装置が水の確保に貢献している。急遽のトラック輸送で現地に設置した清水合金製作所の「アクアレスキュー」は、最大で日量50立方メートルの処理が可能。

逆洗機能も搭載しており、稼働開始後は自動運転で生活用水を供給し続けている。

珠洲市ではアクアレスキュー2台とオプションの活性炭ユニットを健康増進センターに設置。付近を流れる若山川の水を処理し、自衛隊が設置した避難所の風呂やトイレで使用した。この支援はキットと災害時緊急支援プラットフォームフォーム（PEAD）との協定に基づくもので、珠洲市からNGO法人ピースウインズ・シヤパンを経由してキットゲ



珠洲市での設置状況

する。キットとは昨年6月に緊急支援協定を締結し、有事の際にはキットグループが可搬式浄水装置・浄水器を提供することとしていた。

輪島市では児童館に1台を設置し、側溝に流れ込む湧水を原水として活用。浄水処理後の水は水道水質基準の濁度2度以下、色度5度以下をクリアしており、トイレや風呂、洗濯などに使われているという。

た避難所の風呂やトイレで使用した。この支援はキットと災害時緊急支援プラットフォームフォーム（PEAD）との協定に基づくもので、珠洲市からNGO法人ピースウインズ・シヤパンを経由してキットゲ